

《担当者名》 表山知里 [omote_22@hoku-iryu-u.ac.jp] 明野聖子 [naga-s@hoku-iryu-u.ac.jp]

【概要】

実在する地区を担当することを想定し、新生児から高齢者までを対象とする保健師の地区管理を学ぶため、既存の統計や調査などのデータと地区の住民や関係者への家庭訪問やインタビューを通じて、地区の特性や課題を明確化する。また、地区の課題解決に向けて地区活動計画案を立案し、プレゼンテーションを行うことで、地区活動を行う保健師の実践力を養う。

【学修目標】

1. 地区を担当することで、地区担当保健師の役割や活動方法を身につける。
2. 地域のキーパーソンとなる人々を知り、情報を得る手段を身につける。
3. 得られたデータを分析し、地区の特性や健康課題を分析する方法を身につける。
4. 地区の健康課題の解決に向けて、根拠に基づき地区活動計画を立案し、説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	地区管理の目的、役割	保健師の地区管理とは何かを理解する	表山
2,3	地区把握の方法(1)(2)	地区の人々の生活を把握する方法を理解し、担当地区の特性を既存のデータから分析し、地区を捉える	表山、明野
4	地区把握計画の作成(1)	担当する地区の特性や確認が必要な点を明らかにし、地域の人々の生活の実態を把握する方法の計画を検討する	表山、明野
5	地区把握計画の作成(2)	地区を把握するための計画をプレゼンテーションし、ディスカッションを通じて改善する	表山、明野
6~11	地区把握(1)~(6)	担当地区のアセスメントに取り組むために、地区の住民や関係者に家庭訪問及びインタビューを実施し、データを分析する 例)地区担当保健師、栄養士、町内会長、民生委員、保健福祉推進員、老人クラブ会長等	表山、明野
12,13	地区の健康課題の明確化(1)(2)	地区の健康課題を明確にし、地区の特性に応じた介入の方法を検討する	表山、明野
14,15	地区活動計画の作成(1)(2)	地区の課題解決に向けた地区活動計画を作成し、プレゼンテーション及びディスカッションをする	表山、明野

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

プレゼンテーション及び作成資料(60%)、参加状況・ディスカッション(40%)によって総合的に評価する。

【教科書】

佐伯和子他編著：地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド第2版，医歯薬出版株式会社
佐伯和子編：公衆衛生看護学テキスト2 公衆衛生看護の方法と技術，医歯薬出版株式会社

【参考書】

適宜提示する。

【備考】

Google Classroomを用いて出席確認及び学修の理解の確認を行う。

【学修方法】

1回は教員が講義を行う。

2～15回は各学生が地区を想定したアセスメント、課題の明確化、地区活動計画の立案を行う。毎回、担当する学生が資料を用いてプレゼンテーションを行い、その後、学生間のディスカッションで学びを深める。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

表山知里(保健師)、明野聖子(保健師)